

2025年



12月

草の根

BULLETIN OF THE AICHI COUNCIL AGAINST A&H BOMBS

発行 原水爆禁止愛知県協議会
発行人 佐竹康行
〒461-0004
名古屋市東区葵1-22-26
Tel(052)932-3219
Fax(052)931-2651
gensuikyo@lime.ocn.ne.jp
毎月1回 6日発行
月40円/年間480円

県内162,592筆

2025年11月10日 現在

日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名

11月21日(金)午後、東京の星陵会館ホールにて「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名の共同提出のつどい」が開かれました。日本原水爆被害者団体協議会(被団協)の呼びかけで、原水協、原水禁をはじめ全国から被爆者、支援者合わせて314名が駆けつけました。愛知県からも、愛友会の被爆者、被爆2世6名をはじめ、県・地域原水協、被爆者支援ネット、科学者

日本政府は核兵器禁止条約に参加を！ 署名提出・国会前集会以 愛知から27名が参加



国との関係が非常に危うくなっている。非核三原則を法制化せよと運動してきたのに、非核三原則の見直しをしようとしている。由々しきこと。今の政府をなんとかしない」と話し、「核兵器は兵器とは言えない。悪魔の道具だ」と訴えました。政党代表として立憲民主党、国民民主党、公明党、日本共産党、れいわ新選組の国会議員から連帯のあいさつがありました。社民党は夕方の集会に参加しました。



また、全国首長九条の会共同代表の保坂展人、世田谷区長は「非核三原則見直しには断固反対。自治体ぐるみで問題にしていきたい。平和首長会議でも、核兵器禁止条約早期批准の決議をあげており、全自治体の声」と力強く発言しました。被爆者行脚で訪問している自治体のみなさんにも聞いてほしいと思いました。



禁止条約に参加し 核兵器廃絶で 世界の先頭に

提出する署名数は34万9012筆と発表されました。記念撮影後、外務省の代表に直接、各団体、地域からコメントを添えて署名用紙を手渡しました。

東海北陸ブロックの被爆者は、大村義則さんが代表して「世界の多数派が批准するなかで、日本は反対側に立っている。世界の少数派になるのではと心配している。1日も早く批准して世界の先頭に立って欲しい」と署名を手渡しました。

『核兵器いらない』 被爆者の思いが 国会に響く



その後、会場を衆議院第2議員会館前に移して集会が開催されました。東京のうたごえのみなさんによる歌、署名提出の報告、各政党からのあいさつ、被爆者からの訴え、リリーススピーチなどを行いました。被爆者からは「イギリスからも被団協にハガキが届くのに、何



故、永田町には被爆者の声が届かないのか」「核兵器は地球上にあつてはいけないもの」など核兵器廃絶を求める心からの訴えがありました。愛友会の丹羽洋子副理事長も「核兵器廃絶に向けて、被爆者を二度と生まないために生かされてきたと、今日はそういう思いをしました」とスピーチをしました。また、元広島市長の秋葉忠利さんも駆けつけて「2045年、被爆100年までに核兵器を廃絶しよう」と訴えました。

日が暮れて寒くなるなか700人が参加しました。「核兵器はいらない」「被爆者の声を聞け」とコールして終わりました。(事務局・武藤昌代)

被爆者、2世、支援者とともに 愛友会の津島支部再開・ あま市支部結成

あま市支部結成

11月2日(日)、私が住む津島市の愛友会の支部再開(3年振り)と、お隣のあま市の支部結成(初めてかも)を支援者とともに設けることができました。吉祥寺内にある、お寺cafe結人(ゆいんちゅ)を小山初子(人権連津島支部長)さんのご厚意で。愛友会では、金本弘理事長の号令で、瀬戸市で7月に再建、次ぐもの。基本は、被爆者訪問し、繋がった皆さんとの努力です。被爆者の方3人、2世の方3人に加え、大村義則さんはじめ愛友会2世の会2人、佐竹含め、8人の支援者の集まりとなりました。なんと18人!当日は、開会の挨拶を大村さん(事務局・佐竹康行)さんが語り、参加された方が、被爆の体験、肉親の思いなど、語り合いました。主催した愛友会2世部会の丹波真理さんから広島のアオギリの種もプレゼント。今後、1.お互い励ましあって生き抜きましょう、2.原爆の実相を語り、つたえてゆきましようなど提案されました。沖縄料理のとりながらの昼食交流も行いました。ちなみに、朝日新聞、時事通信の記者さん、日本原水協の佐藤学さんも参加!。田原市に住む安間慎さんから、次は豊川、蒲郡かな!と声を発してくださいました。さらに広げていきたいと大村さんと話しています(事務局・佐竹康行)

『武力の行きつく先は戦争・核兵器』 東海北陸ブロック 被爆者相談事業講習会



11月9日、10日に蒲郡市・明山荘にて「日本被爆者相談事業講習会」が行われました。被爆者、被爆2世、支援者50名が参加しました。

はじめに、これまでに亡くなった被爆者に黙とうをささげた後、日本被爆者相談委員の加田弘子さんが「周りの被爆者



者は、いろいろな病を抱えている。(被爆から)80年たつて、ヘルパーさんやケースワーカーさんにお世話になっていない人はいないと思う」と語り、被爆者自身も知らない制度もあるので、しっかり学びましょう」と主催者あいさつを行いました。

開催県あいさつとして、金本弘愛友会理事長が「ノーベル平和賞受賞、戦後・被爆80年ということ、色々と大変な年だった。しっかりと楽しみ、学習しましょう」とあいさつし、来賓の愛知県健康対策課課長、蒲郡市副市長からもあいさつがありました。



講習会は2部構成となっており、はじめに木戸季市前日本被爆者事務局長から「日本被爆者協と私の歩み」と題し、講演が行われました。木戸さんは「被爆したのは爆心地か

ら2km。20mぐらい吹き飛ばされた。あと1mも飛ばされていたら川に落ちて死んでいただろう」と、自身の被爆体験を語りながら核兵器廃絶への思いを語りました。今の世界や日本の情勢について「武力で何かしようとしたら行きつく先は戦争です。それを私たちは体験してきた」、戦争のために私たちは被爆した。だから絶対に戦争だけは起こさせない。そして核兵器も無くす。そのため日本被爆者協もがんばってきたし、日本国民もがんばってきた」と語りました。

次に原玲子中央相談所委員から、被爆者の援護・介護問題について講演が行われました。地域の開業医・医療機関が閉鎖する中で、被爆者健康手帳で受信可能な医療機関が減っていることや、OTC類似薬(市販薬)問題、被爆者援護独自の介護手当の制度などがあまり知られていないことを話し、これまで運動で勝ち取ってきた権利を最大限活用していくことが大切と語りました。



東海市・東栄町が平和宣言 県内全ての自治体で 「非核・平和都市宣言」を

高浜市が平和都市宣言をあげています。

愛知県県内で「非核」「平和」を冠する宣言をあげていないのは岡崎市、小牧市、南知多町、豊根村の4自治体となりました。平和行進や被爆者行脚での要請とともに、地域から「非核平和都市宣言」の制定を求め、愛知県内すべての自治体で「非核」「平和」を冠する自治体宣言を実現していきます。

そして、すでに非核・平和都市宣言をあげている自治体には、宣言に基づいて平和行政が推進されるように求めています。

元旦宣伝

毎年恒例の元旦署名宣伝行動を来年も行います。年の初めに、日本の核兵器禁止条約参加・批准を訴えましょう。

日時 2026年1月1日

12:00~13:00

場所

熱田神宮東側

歩行者天国

反核・平和 新春のついで

2026年平和の課題
高市政権VS
国民の願い・非核の願い
日時:1月11日(日)
13時~

場所:民主会館2階
講師:富田宏治さん
(世界大会国際会議宣言
起草委員長)

参加費

一部のみ500円
一部・二部(交流会)
2000円